

## 癌化学療法輸液約束処方 消胃2

癌種 胃癌（切除不能進行・再発、2次治療）

レジメン名 PTX + RAM

薬品名（商品名）	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与時間	投与日	1クール期間
サイラムザ	ラムシルマブ	RAM	8mg/kg	div	60分	DAY1、15	28日間
パクリタキセル	パクリタキセル	PTX	80mg/m <sup>2</sup>	div	60分	DAY1,8,15	

[DAY1,15]

- ① NS 50ml+デキサート 1V + ファモチジン 1V + ポララミン 1A / 15分 ☆デキサートは別のシリンジで
- ② NS 100ml / 30分（オプションで +5-HT3製剤）
- ③ NS 250ml+ サイラムザ            mg / 60分 ☆フィルター使用
- ④ NS 100ml / 10分
- ⑤ NS 250ml+ パクリタキセル            mg / 60分 ☆フィルター使用
- ⑥ NS 50ml / 5分

[DAY8]

- ① NS 50ml+デキサート 1V + ファモチジン 1V + ポララミン 1A / 15分 ☆デキサートは別のシリンジで
- ② NS 100ml / 30分（オプションで +5-HT3製剤）
- ③ NS 250ml+ パクリタキセル            mg / 60分 ☆フィルター使用
- ④ NS 50ml / 5分

〈備考〉

- ①サイラムザ投与時は蛋白質透過型のフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用すること。
- ②G1～2のinfusion reaction発現時は、アセトアミノフェン、デキサメタゾン、H1ブロッカーなどの前投薬を強化する。
- ③手術予定の場合または創傷治癒してない場合は投与中断する。術後28日以内、CVポート留置7日以内は慎重投与。
- ④Rp②の制吐剤は オプションで使用可。

〈投与中止〉

動・静脈血栓塞栓症、G3～4のinfusion reaction, 消化管穿孔、G3or4の高血圧、うっ血性心不全、コントロール不能な高血圧  
可逆性後白質脳症症候群(痙攣、頭痛、錯乱、視覚障害等)、3g以上/日の蛋白尿またはネフローゼ症候群

H27.8.10

H28.11.25 担当医師よりday1,15のRp④NS 100ml(サイラムザ観察時間) 投与時間を「全開」に変更指示あり変更。

R1.9.4改訂

H26.6.19改訂